

世界一短いショートショート

coco77

世界一短いショートショート

世界一短い小説 1

そこにアルファベットがあった。

「世界一短いアリス・ストーリー」

夕暮れの中、アリスが目を覚ますと・・・。

「世界一短いアリス・ストーリー」

アリスはパンケーキを好む。シロップをたくさんかけて。

「ショートショートたち」

ある日、地球に宇宙船がやって来た。その船には地球人の生き残りが乗っていた。「やれやれ、この星はもうスクラップ行きだな」と銀河ヴォゴンのいうとおり、地球は、スクラップ処分にされた。

世界一短い小説 2

世界中のコンピューターが集められた。そのコンピューター科学者はショートショートを作ろうとしていた。

「へへへ、そんなことできるわけがねえ」と人々は嘲笑った。しかし、科学者たちは、必死に努力して、コンピュータに、ショートショートを作らせた。その結果は？

「我々は改めて人類の英知を知りました」と科学者は言った。そう。そのコンピュータは、ショートショートを作ったのである。←以上、これが、コンピュータによる小説である。

世界一短い小説 3

ウがあった。チュウはなかった。

世界一短い小説 4

A国に大統領が誕生した。そのとき。

世界一短い小説 5

宇宙の果てで愛を叫んだ獣がいた。それは、女であった。

世界一短くない小説 6

「やれやれ。地球人にも困ったものだな」とその異星人はいった。

「いっそのこと、滅ぼしてやりましょうか？」と相手をしていた異星人もいう。

こうして、一つの文明が消滅した。銀河ヴォゴンは偉大なり。

ショートショート

世界樹の根本にある葉っぱ。それは万病に効くという。

それを求めて、村の勇者一行は旅に出た。

「やあ、これが新幹線ですか。楽ちんですね」と勇者がいった。

「あ、駅弁を売っていますよ」と魔法少女がいう。

「次は世界樹駅ですね」と気を引き締める。しかし、そこも観光地となっていた。

って、どんだけ勇者がいるんだよ！

世界一短い小説 7

あ！

世界一短い小説 8

男「あへへ」男「あへへ」

世界一短い小説 9

男「あへへ」女「あへへ」

世界一短い小説 10

宇宙空間には何もないんだよ。ほら・・・・・・・・・・・・・・・・・・ゴーン

ショートショート

銀河をゆるる草原のかなたに、一筋の光が走っていきます。それはとわに、軌道をめぐる船です。「わたしたちは、すべてを捨ててきました」と彼女がいった。「もう地上にはなにも残っていない」と、そのときであった。「見てください。艦長。ここは美しいですよ」風立ちぬ草原に。

世界一短い話 11

やーい、貧乏っこ！と少年たちは囃し立てます。そうです。その少年にはお金がなかったのです。今は戦時中。とうていやり繰りすることなどできません。とそこに、一人のマッチをもった女の子が近づいてきました。「マッチはいかがですか？」ここで、お金を使ってしまうと今日一日食べるものはありません。でも、少年は女の子からマッチを受け取りました。「ありがとう」と女の子がいました。「とわに神様が見ていますから」すると不思議なことに、赤く燃える、マッチのなかに、ごちそうの数々が見えたのです。それは透き通ったガラスのような食べ物でした。このお金で買ったものは、僕のものじゃない。と少年は思いました。けれど……。温かい光に安心して、眠っているうちに、朝がやって来たのでした。

世界一短い小説 1 2

作家はなにも書けない。

世界一短い小説 1 3

AとBがCという女をめぐって、対立した。略して、 $A \Leftrightarrow B = C$

世界一短い小説 1 4

アフリカのサバンナで、男がいた。とそこに人間狩りがやって来る。「ここは、世界の果てだ」と男がいった。ぼくの小説もなにも役に立たない。小説も詩も。

世界一短い小説 1 5

エジプトのラー、ヌピアの飼う、大きなライオンは、真実の獅子である。その瞳は罪を見抜き、そして、裁く。少年たちは、獅子が目の前にやって来るのを感じていた。「貴殿らに罪はない」とラーがいった。獅子はじっと動かないままだった。

世界一短い小説 1 6

草原を一条の光がよぎってゆく。それは、つねに空の軌道をめぐる機関車。無限の駅から出発し、無限の空中にある駅へと入る。「ぼくたち、どこにいくんだろう？」と少年が少女にいった。沈黙の野に還れ。

世界一短い小説 1 7

東京の外は砂漠であった。

世界一短い小説 1 8

美しいものがどこかにあるのでしょうか。とフレイはいった。そうじゃ。この世界の果ての、ヨモツガルドの館に、ご馳走と、美味しい酒がある。その地では、巨人と人が常に戦っている。（北欧神話より）

ショートショート

銀河系にある植民星で、暴動が起きた。と、そこに正義のヒーローがやって来た。「助けに来てくれたのね!」「弱きをくじき、悪しきを助く! 悪役ヒーロー見参!」そして……。 「いやあ、感謝しとりますわ。これは礼金ね」

世界一短い小説 1 8

アイ・アム・イングリッシュ。

世界で一番短い小説 1 9

宇宙飛行士たちが宇宙船で会話していた。「ブラックホールとは何か?」「それは、宇宙の質量を通じてもたらされる特異点のようなものだ」「言葉とは便利だな。特異点で、全て済ませられる」と、そのとき、船はブラックホールへと吸い込まれた。

ショートショート

ヨモツガルドにある、フレイの館には、戦い抜いたヴァルハラ of 戦士たちが集まるという。そこでは猪肉が切り分けられ、女神たちが美酒を注ぐ。と、そこに、氷の巨人がやって来た。彼はフレイヒルダとの愛のために、とわの死とともに海へと入っていく。フレイヒルダの金色の髪がいつまでも色褪せぬよう。

ショートショート

ヴァルハラ of 野に一人の乙女がいた。その名はフレイガルド。その名をもつものはもう一人いる。氷の巨人だ。二人のフレイガルドは、近づくと、すらりと剣を抜く。「戦いなさい。とわに世界が滅びるまで」そして、乙女フレイガルドが倒れたとき、氷の巨人もまた倒れた。はじまりの骨はこうして生まれた。

世界一短い小説「春ちゃん・・・」

世界一短い小説 20

これがディープスペースの力！ と彼はメルゾック戦闘服を身にまといながら、感激に震えた。そして、大気圏落下してゆく。軌道兵たちはみな、そうやって死んでゆくのだ。

世界一短い小説 21

「春ちゃん・・・」と彼女はつぶやいた。その青年は夢の中で眠っている。はるかな手毬唄を求めて。「その唄ならば、歌いましょう。ただし、だれにも知られぬように」

世界一短い小説 22

「草迷宮」(泉鏡花)ですね。その通りです。最後に化け物屋敷の主が、冥府を彷徨う青年に告げるのですよ。手毬唄を。B氏：しかし、なんでこんな小説が生まれたんでしょうか？ 100年前の日本は謎ですね。